

# 平成 28 年度奨学生募集要項

公益財団法人 北澤育英会

## 1. 募集資格について

- (1) 貴校の大学の1年次に在学する学生
- (2) 日本国籍を有する学生
- (3) 将来、社会に貢献し得る人材として学校長の推薦した学生
- (4) 交流行事に積極的に参加して頂ける学生。地方在住の在籍奨学生には行事に参加の際、所定の交通費を支給します。
- (5) 直接本人に給付するため毎月20日(但し、休日および祝日の場合前日)に北澤育英会事務所(新宿区下宮比町2-28 飯田橋ハイタウン335)に受け取りに来ることが出来る学生。地方在住の学生については本人指定の金融機関へ振込みます。

## 2. 奨学生推薦人数

平成28年度生 1名

## 3. 奨学金

- (1) 月額：50,000円(大学) 70,000円(大学院)
- (2) 給付期間：奨学生に採用されてから在学する大学校の正規の最短修学期間  
大学院へ進学する場合は、再度選考審査を受け採用後2年間を限度とします。
- (3) 返済：なし
- (4) 他の奨学金との併給禁止は有りません。
- (5) 新奨学生歓迎会：平成28年7月2日、4月から3か月分の奨学金の給付も行いますので、地方の奨学生も参加できるようにお願い致します。

## 4. 応募書類 ※当育英会指定の用紙

- ① 奨学生候補者推薦書※(在学する学校長の推薦書)
- ② 奨学生願書※
- ③ 高校調査書
- ④ 健康診断書
- ⑤ 家計状況書※
- ⑥ 住民票(マイナンバーの記載のない家族全員のもの)
- ⑦ 所得証明書(源泉徴収票、確定申告書、課税証明書等)
- ⑧ 自己推薦書※ 活動実績：高校生時代の学業並びに各種活動実績など800字程度  
将来計画：大学生活の取り組み意欲及び将来の目標など800字程度

## 5. 選考結果のご通知

推薦された候補者全員について6月23日の「奨学生選考委員会」に諮り、結果をご連絡いたします。

## 6. その他

卒業後も本会の育英事業の一環である交流行事「奨学生の集い」への参加、会誌の寄稿、近況報告のご協力をお願い致します。

以上



# 奨学生願書

公益財団法人 北澤育英会 御中

本 籍		都・道 府・県	
フリガナ	性 別	生年月日	19 年 月 日 (4月1日現在満 歳)
氏 名	男・女		
写 真 横 3.5cm×縦 4.5cm  *6ヶ月以内に撮影したもの *写真の裏面に氏名を記載 して下さい。	本 人 現住所	〒 - 自宅・下宿・アパート・学寮・その他( ) TEL. - -	
	実 家 住 所	〒 - 持家・借家・社宅・その他( ) TEL. - -	
E-mail(PC)		携帯電話番号	- -
E-mail(携帯)		現住所の 最寄駅	.....線.....駅
現在在籍中の 大学について	大 学 名		学 部 / 学 科 等
	一般・推薦等の入試形態 / 現役又は何浪		クラブ、同好会などの課外活動予定
経 歴 (出身中学より記 入)	名 称	専 攻	在 籍 期 間
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月

<当財団以外の奨学金の出願状況>

出願状況	団体名	種類	支給月(月額)	支給期間
出願(予定・済)		貸与・給与		年 月～ 年 月
出願(予定・済)		貸与・給与		年 月～ 年 月
出願(予定・済)		貸与・給与		年 月～ 年 月

(次にページに続く)

自己の性質(長所と短所を記入)	主義・信条
スポーツ・文化活動などの経歴	高校におけるクラブ・委員・役員等の経験
趣味・特技	愛読書籍・購読雑誌・新聞等
健康(既往症があればその病名、時期等)	尊敬する人

将来の抱負や希望・興味のある分野等(習得した知識等を将来何に活かしていきたいか、将来の従事しようとしている職業等、自由に記載して下さい。)


奨学金の給付を希望する理由(家庭状況、特に考慮を望む事項)


以上の通り記載事項に相違ありません。奨学生として採用ただいだきたくお願い申し上げます。

平成 28 年      月      日

公益財団法人北澤育英会  
理事長 清水 雄輔 殿

氏名(本人) \_\_\_\_\_ 印

# 家 計 状 況 書

記入日 年 月 日 氏名 (本人) \_\_\_\_\_ ㊞

## 1. 家族及び収入について

1) 就業者を除く家族全員を記入して下さい。

	続柄	氏名	年齢	職業	所得形態 (給与・自営・年金・その他)	収入金額 (前年)	所得金額 (前年)	収入見込 (今年)
家計支持者に○別居に×	父					万円	万円	万円
		父 死亡・生別・無職の場合 その年月 ( 年 月 ) その他 ( )						
	母					万円	万円	万円
		母 死亡・生別・無職の場合 その年月 ( 年 月 ) その他 ( )						
						万円	万円	万円
						万円	万円	万円
						万円	万円	万円
					万円	万円	万円	

2) 就学者 (本人以外) を記入して下さい。

	続柄	氏名	年齢	設置者	在校名・学年
未就学児を含む				国公立・私立	
				国公立・私立	
				国公立・私立	
				国公立・私立	
				国公立・私立	

## 2. 本人の一月平均学資について

収入	家庭から	円	授業料	年額	円	
	アルバイトから	円		支払いについて		
日本学生支援機構奨学金	円			・家庭から		
他の奨学金	円			・アルバイト		
その他	円			・その他 ( )		
収入合計	円					
支出 (以外)	住居費	円		授業料免除		
	平均生活費	円			・有 (全額・半額)	
	その他	円			・無	
	支出合計	円			・申請中	











# 家 庭 調 査 書

申 請 者	所属	学群 _____ 学類 _____ 年次 _____									
	学籍番号	_____			性別	男・女	現住所	〒 _____ TEL ( _____ )			
	フリガナ	_____					家族住所	〒 _____ TEL ( _____ )			
	氏名	_____									
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏名	年齢	職業	在職期間	勤務先名称	給与所得の収入金額(税込)	給与所得以外の所得金額		
		父				年		万円	万円		
		母					年		万円	万円	
		父または母 死亡・離別の場合 時期( 年 月) 理由( )									
		主たる家計支持者無職等の場合 時期( 年 月) 理由( )									
						年		万円	万円		
						年		万円	万円		
						年		万円	万円		
						年		万円	万円		
	別 居 者 に ○ × 印	続柄	氏名	年齢	学校名	設置者別	学校種別	通学別	控除額		
本人				筑波大学	国立		※自宅 自宅外	万円			
					※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門)	※自宅 自宅外	万円			
					※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門)	※自宅 自宅外	万円			
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無								
	母子・父子世帯		※有・無						万円		
	障害者がある世帯		※有・無	続柄( ) 氏名( ) 手帳番号( )					万円		
	その他										
本 人 の 状 況	家庭からの給付	月額( 千円)						認 定			
	アルバイト	月額( 千円) 内容( )						総収入金額	① 万円		
	奨学金	受給中	月額( 千円) 団体名( )						必要経費	② 万円	
		申請中	月額( 千円) 団体名( )						特別控除額	③ 万円	
	その他の収入	月額( 千円) 内容( )						総所得金額	④=①-②-③ 万円		
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平均値	収入基準額	世帯人数	人
		大学(院)	A	-	B	C	-			⑤	万円
	修得科目数・単位数								家計充足率	⑥=④÷⑤×100	

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。  
(父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。  
(父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあっては出身学校の成績を記入し、成績証明書を添付すること。  
2年次以上の者にあっては、前年度までの成績を記入すること。